

2017年 司法通訳技能検定試験

(実施案内)

裁判所や警察署を中心とした司法の場での通訳には法律の知識と法律用語の正確な通訳が必要とされる。司法通訳技能検定は、裁判所で行われる裁判での通訳、警察署等で行われる取り調べの際の通訳、弁護士と被疑者・被告人が接見する際の通訳など司法の場での通訳に必要な能力の持主であることの証明となる。



受験資格	誰でも受験できる。 ※ただし、1級は、①同言語2級に合格している方、又は、②【2016・2017年度 司法通訳養成講座】全コースを受講された方に限る。	
試験内容	【4級】/【3級】 試験問題を同一とし、点数により等級を判定。 2級と同時出願可	<ul style="list-style-type: none"> ①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(初級・中級) ③通訳場面等の翻訳問題 ④リスニング(接見・法廷を想定した通訳問題)
	【2級】 4級/3級と同時出願可	<ul style="list-style-type: none"> ①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(上級) ③法律文書・通訳場面等の翻訳問題 ④リスニング(法廷を想定した通訳問題)
	【1級】 ①同言語2級に合格している方、又は、 ②『2016・2017年度 司法通訳養成講座』全コースを受講された方	<ul style="list-style-type: none"> ①日常用語、法律用語等の語彙問題 ②法律知識・司法通訳倫理等の問題(上級) ③法律文書・通訳場面等の翻訳問題 ④通訳実技(法廷を想定した逐次通訳問題)
試験言語	制限無し。但し、少数言語は実施できない場合がある。 各年度に10ヶ国言語まで実施。10ヶ国言語を超えた場合にはくじ引きによる実施言語を決定。	
指定言語	中国語、韓国語、英語、ベトナム語、フランス語、ドイツ語、スペイン語。(7ヶ国語)	
申込期間	言語限定追加募集(指定言語)： 2017年07月10日(月)～2017年08月31日(木) 消印	
申込方法	メール添付 + 郵送 info@japanlawinterpreter.org	
試験期日	2017年10月07日(土)【3-4級】 / 10月08日(日)【2級】 / 10月09日(月・休)【1級】	
試験地	東京	
受験料	【4級】/【3級】 11,700円、【2級】 15,700円、【1級】 23,700円	
合格率		

お問合せ先

「司法通訳士」試験実施委員会
 〒105-0004 東京都港区新橋1-18-2 明宏ビル別館302号室
 一般社団法人 日本司法通訳士連合会(JLIA) 内
 TEL 03-6205-4928 URL=http://www.japanlawinterpreter.org